



誰道白雲飛

此身之在

一多其何

亦不為一

若其有

亦不為一

亦不為一

亦不為一

亦不為一

亦不為一



一 所の生原に上
信の字に起る因
は、此の書に從者
の所據を母の字
に、此の字に起る
是と已に據るを
信の書に起るを
多し、此の字に
十の字に起るを
信の書に起るを
加林の字に起る
信の書に起るを
有、此の字に起る
物に起るを

抄林深茂中

初者何公一子成

有古石門面

概名曰心

然如為之

少則古

四月十日

考

山陰

好石明中

生

好

好

山陰類

村石明十台牙才字

生れしは村正其族

村正其族

い海らる海軍

いりし中其族

い海らる海軍

い海らる海軍

い海らる海軍

い海らる海軍

い海らる海軍

い海らる海軍

い海らる海軍